

来年秋に分譲開始

鶴岡市の茅原北土地区画整理事業

25ヶ所の造成工事本格化

安全祈願祭



赤線内が土地区画整理事業約25ヶ所の整備エリア＝鶴岡市茅原北土地区画整理組合提供



鶴岡市茅原北土地区画整理組合（梅木力理事長）が市街地北部の茅原地区で進める土地区画整理事業の造成工事の安全祈願祭が12日、同地区で行われた。2021年度の事業完了を目指し、工事が本格化する。住宅地のほか、福祉・医療ゾーン、商業施設などの業務ゾーンを設け、「福祉・医療・商業が共存する、出会いと交流」を基本理念に掲げたまちづくりを進める。分譲開始は来年秋ごろを見込む。

整備面積は県立こころの医療センター周辺の約25ヶ所を想定したが、既存商店街同センターのほか近隣に介護施設や診療所などが立地していることを背景に、関連施設の誘致、集積を目指す。商業施設は当初、整備面積の半分を占める約12ヶ所を想定したが、既存商店街への影響を考慮し約10ヶ所に縮小。スーパーやドラッグストア、ホームセンター、家電量販店の立地を見込んでおり、来年1月にも具体的な立地店舗が固まる見通し。

梅木理事長（右）と榎本市長が鍬入れして、工事の安全を祈った

また、店舗併用住宅やオフィス併用住宅を誘導し、近くの「サイエンスパーク」の動きも視野に若手起業家を含む多様なニーズの住宅需要の受け皿とする。一般向け住宅用地は約200戸分の整備を計画している。総事業費は39億5800万円。国や県、市が計約6億円を助成する。区域内には区画道路のほか幅18メートル、長さ94.5メートルの都市計画道路鶴岡駅茅原線、街区公園

などが整備される。同組合の組合員は地元的地権者72人。造成工事は佐藤工務（佐藤友和社長）を代表とする地元7社による特定建設工事共同企業体が担う。安全祈願祭には、組合や県、市、施工業などの関係者約40人が出席。梅木理事長と榎本政規市長が鍬入れを行い、工事の安全と早期の完成を祈った。祈願祭後、梅木理事長は「ようやくここまでたどり着いた。既存宅地は住宅が増え、空き地が全くない状況になっており、今回の土地区画整理事業で若い人を呼び込んで活気あるまちづくりを進めていきたい」と話した。